

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和7年度高山工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年11月12日(木) 13:15～15:10
*13:20～13:50 2年生各学科の「実習」の授業を参観
- 3 開催場所 高山工業高等学校 校長室
- 4 参加者 (敬称略)

会 長	桑原加奈子	高山工業高等学校 育友会長
副会長	見山 政克	高山市教育委員会 教育長
委 員	牛丸 勝	高山市立日枝中学校 校長
	松井 健治	高山市立花里小学校 校長
	牛丸 義仁	千島町内会副会長 (欠席)
	中田 和子	高山商工会議所 女性会 会長
	北村 卓也	飛騨木工連合会副理事長 (欠席)
		日進木工株式会社代表取締役社長
学 校 側	岩島 義則	校長
	渡辺 圭子	教頭
	三田 真弓	事務長
	梶井 真也	教務主任
	高橋 佑介	生徒指導主事
	山下 泰司	進路指導主事
	門前 雅人	工業部長

5 会議の概要

[授業参観の感想]

- 意見1：専門性が非常に高く、生徒もそれに取り組んでよく頑張っている。この中から、日本の工業を背負う生徒が人材として育っていくことを真に期待する。
- 意見2：どの教室も少人数指導で手厚い指導が受けられ、生徒達は幸せだと感じた。
- 意見3：集中しており手際がよかった。自然に周りの方に聞いたり周りが説明してやったりと、一緒に高め合いながら学んでおり、嬉しく感じた。先生方も的確にポイントを伝え、あとは、生徒たちに任せてやってみるという雰囲気があった。加えて移動時に会った生徒の挨拶とその表情は非常に爽やかだった。
- 意見4：どこの学科へ行っても生徒達は夢中になって課題に向かっていた。素晴らしい。

[協議及び指導・講評]

1 協議事項

(1) 生徒及び保護者等を対象としたアンケートの分析

意見 1 : 教育目標やスクールポリシーの周知、教育目標を大切にする校風については、昨年度に比べて評価を下げた。その原因はどのように分析しているか。
⇒入学式等、適切な機会に本校のスクールミッションやスクールポリシーについて丁寧に話す場面がなかったことを反省している。学校として重視している内容の為、今後は折に触れ説明を重ねる。

意見 2 : 入学してよかったと 90%以上の生徒が思っているということは、非常に嬉しい。一方、否定的なことが増えたり、非常に高評価だったものが少し減少したりという項目もあるので、その意識は何なのかということは気になる点でもある。また、生徒自身がモラルや、清掃活動等に課題意識を持っているということは良いことである。生徒会の動きにも繋がればと思う。

(2) 教育活動の中間報告

① 学校経営

意見 1 : 総合工学科群で入学後、希望する学科に偏りがあった場合、心配な点もあるがどうか。

⇒昨年まで偏りの調整は、中学校での指導や高校入試のときの第2志望での合格という形でなされてきた。今回のメリットは、入学後一定期間、全員が電気や機械、電子機械や建築インテリアの専門を勉強する中で、外から見ては分からなかった自分の得手であったり興味関心のある分野が見えてくることにあると考えている。また、学習へのモチベーションの高まりも期待している。学校では入学したところで決定の時期や方法も含めて、保護者や生徒に丁寧に説明を行っていく予定である。

意見 2 : これまで受験時に学科を選ぶ理由は、友達が行くからとか、知った先輩がいるからとかいうところも実際あったと思う。入学後、途中で違う学科の方が良かった等、心の葛藤があった生徒もいたように聞いている。そうすると、入学してから10月まで過ごし、その中で行きたい学科を見つけるということは生徒たちにとってすごく良いことで、自分の子供の頃にも欲しかった位の制度だと感じている。第2希望以降に回る生徒がいれば丁寧な寄り添った対応をお願いしたい。

② 教務部

意見 1 : タブレットの値段と活用度を教えてほしい。

⇒6～7万円ほど。本校では最大限に活用したいと考えている。例えば1年生では工業情報数理という授業で工業ならではのプログラミングをデジタル

教材等も活用して教えたい。

③生徒支援部

意見 1：先ほど廊下で会った生徒が、どの子もすごくさわやかに挨拶してくれたのは大変うれしかったし、学校がそういう雰囲気なのだろうなと感じた。なお、保護者アンケートの中の「いじめや差別を許さず厳しく対応している」という項目と、「各々の相談に丁寧に応じている」という項目は、わからないという回答も含めて、大切に受け止め、適切に対応していく必要があるとも感じている。

意見 2：近くの小学校で登校指導に立っている。4月の頃よりも工業高校の生徒から挨拶をしてもらえる頻度が増えたと感じている。欲を言うと、高校生から小学生に「おはよう」と言ってもらえると小学生は喜んで手本にするだろう。

④進路支援部

意見 1：資格や専門性は、将来、本当に強みになる。高校の時から、そういった専門性をしっかり学ぶことは大変良いことだ。

⑤工業部

意見 1：サテライトキャンパスが非認知能力を育てると聞いた。いろいろなことを総合的に考えられる力は大切。それがまた戻ってきて、ものづくりに活かされれば非常に意義深いと考える。

(3)生徒会活動の報告と意見交換

意見 1：自分達で壮行会や運動会を盛り上げたいと工夫するなど多くの活動に取り組んだことで、すごく学校が元気になっただろうし、素敵な取り組みだと感じた。自分は中学校長であるが、地域清掃活動や、フレスポでの活動については、地域の中学生在が高校生の姿を見て憧れるようになるためすごく嬉しい。また、服装のことも、いい加減にするのではなくて、着こなしも含めてきちんとこのように話し合いながら進めていったと聞き、そういう姿も中学生が見ているので、是非あこがれるような姿でいてくれると嬉しく思う。

意見 2：生徒会の方から「先生方も一緒に運動会の競技に参加しましょう」という声がかかったという話を受け、先生方と生徒の皆さんの関係が目に見え、大変素敵だと感じた。

意見 3：どれをとってもすごい活動だ。私も娘の大学の状況をインスタで確認している。反面、SNSには危険なことも沢山あるので、その危険なことを直視しながら、どうしていくか皆で対策を話し合って、来年、再来年、生徒がうまく活用してインスタで高校のよさを広めていけるようになると良いと思うし、その成果は、私も是非、見たいと思う。

6 会議のまとめ

授業参観では全員の委員の皆様から、高い評価をいただくことができた。生徒や教員に伝え、励みとしていきたい。その後、生徒及び保護者等を対象としたアンケートを参考に、教育活動の中間報告を行った。ご指摘いただいた点について早々に職員一同と共有し、教育活動の中に落とし込んで、年度後半以降をさらに充実させていきたい。

生徒会役員による活動報告の中では、生徒が主体となり日々考えながら行ってきた活動に高い評価をいただいた。「後に控える中学生にも見本となる姿を示し続けてほしい」という委員からの言葉に、襟を正される思いになるとともに、さらなる活力をいただいた。

第3回の協議会では「卒業作品展」の見学と本年度の教育活動の総括を行う予定である。